

2010(H22).04.25

関東大会県予選の1回戦は53-5で合同Bに順当勝ち

4月25日(日)水戸農高グラウンドで関東大会県予選の1回戦が行われ、日立一高は前半29-0、後半24-5、計53-5で合同B(緑岡、水戸農、勝田、茨城東)チームを破り、2回戦に進出しました。

晴天・微風の絶好のコンディションの下、11:40キックオフ



3か月ぶりの公式戦とあって、前半はFW・BKともにコンビネーションが悪く、細かいミスや不用意な反則などもあり、5トライを奪ったものの今ひとつ不完全燃焼のまま終わりました。

後半は“心機一転”と思った矢先にキックチャージから合同Bにトライを喫し、嫌なムードが漂います。

その後、4トライを返しましたが、ノットロールアウェイ(タックラーがタックル後に撤退せずボールが出るのを阻害)、ハンド(ラック内で手を使う)、アーリータックル(ラインアウトジャンパーが着地する前にタックル)など、基本的な部分の反則が多く、最後までゲームのリズムを掴めませんでした。



キックやハンドリングの精度、ランニングのコース取りなど、細かい点を挙げるとキリがありませんが、今の日立一高に不足しているのは、明確なゲームプランと経験と自信(それと“気合い”かな?)でしょう。



収穫は、体格で勝る相手FWIにスクラムで押し負けなかったこと、新人2人(鈴木・栗原)が無難に公式戦デビューできたこと、そして大きな怪我がなかったことです。

今日の経験を十二分に生かし、次の下妻一高戦(5月1日(土)12:50勝田工高G)では、成長した姿を見せてくれるものと期待しています。

